

マレーシア留学の魅力

教育学部特別支援教育教員養成課程4年山内麻未

2022年10月～2023年7月まで、マレーシアのプトラ大学 (University Putra Malaysia) (通称:UPM)に留学していました。留学中、様々な人に出会い、歴史や政治、宗教、日本について新たな視点を得ることができました。そして、マレーシア及び東南アジアが大好きになって帰ってきました。このポスターではマレーシア留学の魅力についてお伝えします！

Basic information

- ★位置→東南アジアの中心。マレー半島とボルネオ島北部から成る国。
- ★面積→約33万km² (日本の面積の9割弱。国土の約60%が熱帯雨林！)
- ★人口→約3260万人。首都はクアラルンプール(通称:KL)。
- ★民族→ブミプトラ(マレー系住民と先住民)約70%,中華系約23%,インド系約7%。
- ★言語→マレー語(国語),中国語,タミール語,英語などが話されている。
- ★宗教→国教はイスラム教。信仰の自由が認められている！イスラム教(64%),仏教(19%),キリスト教(9%),ヒンドゥー教(6%),儒教・道教等(1%)など…!!!

※外務省ホームページより

オランウータンは実はマレー語！
オラン=人,ウータン=森
で「森の人」という意味です！

マレー系女性の伝統衣装
バジュクルン(Baju kurung)は
とてもカラフル！
大学やオフィスでも着ます～

日馬関係

鹿児島大学をはじめ、日本全国の大学や高専でマレーシア人留学生が正規留学しています！
みんな優しく、日本語べらべらです～(´Д｀)

- ★16世紀に、現在のマラッカ州を経由してキリスト教や鉄砲が日本に伝わったとされ、17世紀には朱印船による交易も行われていました。
- ★20世紀初頭には、ゴム栽培や鉄鉱石の採掘などに携わる多くの日本人が訪れ、移住した人もいました。
- ★1982年から続く東方政策(ルックイースト政策)では、マレーシアから日本へ留学生や研修生が毎年日本に派遣されています。
- ★鹿児島県内では日置市や霧島市でマレーシアとの交流が行われています。
- ★物価の安さや治安の良さ、地震がないことから、11年連続「移住したい国」「長期滞在希望先」の第1位に選ばれました。 ※ロングステイ財団より

民族・宗教を尊重する フレンドリーな国民性

多民族が共生するマレーシア人は、互いの民族や文化、宗教を尊重する姿勢を持っています。例えば、CNY(旧正月)やハリラヤ(イスラム教徒の断食明け祭り)、ディパバリ(ヒンドゥー教徒の光の祭り)など民族・宗教行事は国民の祝日となります。皆と一緒に祝うことで一つの「マレーシア国民」を形成しているように思いました。また、フレンドリーな人が多い印象で、突然訪問しても家に泊めてくれるなど、マレーシア人の寛容な心に感動しました。

家族&子ども思い

マレーシアでは子どもを大切にしてくれます。例えばショッピングモールで大泣きしている子どもがいても怒る人は誰もいませんし、子どもが熱を出したから休講にするという教授もいました。兄弟が6～7人いる人も大勢おり、知らない家庭の子どもでもすぐにあやしてくれます。「日本は出生率が下がってきているそうだが、なぜなのか？」と尋ねられることもあり、答えに困りました。

大学生活

UPMは首都近郊にある国立総合大学です。学生数は2万人以上で、英語で授業を受けることができます。元々農業大学であったことから敷地が広大であり、学内をバスで移動します。また、現地学生のほとんどがkolejという寮に住んでいます。アジアをはじめ、中東やアフリカからの留学生も多く、インターナショナルな環境で学ぶことができます。また、大学に誇りを持っている学生が大変多く、行事ごとに校歌を歌うというのは驚きでした。

マレーシアへ留学すると…

マレーシアをはじめ、東南アジア諸国へ留学すると必ず第二次世界大戦時の侵略の歴史について知ることになります。1941年12月に行われたマレー作戦は、太平洋戦争時に最初に行われた作戦です。日本軍はマレーシアに上陸したのち、現在のシンガポールまで制圧しました。この作戦の話現地の方から聞き、自分の無知さを痛感しました。また、「なぜ日本人は東南アジアを侵略した歴史を学ばないのか。」と尋ねられたこともあります。東南アジア諸国の博物館を訪れると、必ず日本軍侵攻の歴史が当時の遺物と一緒に展示されています。日本では学べないこと、ぜひ現地に行って知ってもらいたいです。

帰国が迫ったころ、寮のみんなに日本食を振る舞いました。そこに来ていたのは、ミャンマー、インドネシア、ブルネイからの留学生。そこで「歴史」が話題となり、自然と太平洋戦争時の話にもなりました。その時ミャンマー人の留学生が、「過去にはいろんなことがあったけど、今同じテーブルで食事をできるってことは、平和で素晴らしいことだね。」と言いました。彼女は2021年に起きたクーデターにより、ミャンマー国内で学業を続けることができなくなった1人でした。そんな彼女が話す言葉はとても力強く、今ある環境に感謝しなければならないと思いましたが、平和な世の中を築かなければならないと気付かされた出来事でした。

Sikit-sikit, lama-lama jadi bukit. (少しずつ時間を掛ければ丘になる。)
「塵も積もれば山となる」と同じ意味のことわざのマレーシア語版です！

マレーシアは都市部では英語を話せる人も多く、アジアの中心といってよいくらい民族、文化、宗教が入り交じったインターナショナルな国です。過去に暗い歴史がありながらも、多くのマレーシア人が日本の技術や自然、文化に関心を持っていました。マレーシアから東南アジア諸国へは片道約2時間で訪れることができ、留学中に各国の文化、言語、歴史に触れることができました。日本とつながりの強いマレーシア、そして東南アジアに興味をもってもらいたいですし、ぜひ留学候補の1つとして考えてみてください！マレーシアに留学中、Instagramに日記をつけていました！留学や国際交流に興味のある方はぜひのぞいてみてください！
Instagram→mamimalay22

Terima kasih!!!

#WeLoveUPM